

香川県事業者の未来への投資を応援する総合補助金 活用事例 原稿様式

従来からの事業分野	①農業	目的	売上増
事業名	牛受精卵増産のための受精卵凍結機の導入		
事業概要	受精卵凍結器を導入することで、県内の受精卵需要に対応できる供給体制を整え、自社の売り上げ拡大にもつなげる。		
写真①		写真②	
既存事業の内容	乳牛を約700頭飼養し、「牛にストレスをかけない酪農」を目指している。また、地域とも協力し「循環型酪農」及び「自社育成での乳牛100%確保目標」を掲げる等の特徴がある。加えて、和牛も約200頭を飼養し、子牛や受精卵販売にも力を入れている。		
取組内容	採卵（受精卵の採取）の過程で必要となる受精卵凍結器を所有しておらず、外注の凍結費用が年間100万円以上かかることが大きな負担となり十分な供給体制がとれていなかった。受精卵凍結作業は獣医師でなくてもできることから、受精卵凍結器を導入することで採卵コストの削減が可能となり、採卵頭数の増加により受精卵の増産につなげ、県内の受精卵需要に対応する。		
補助事業の効果・成果	受精卵凍結器を導入したことで、受精卵増産による売り上げ増加及びコスト削減が可能となり、県内畜産農家の受精卵需要にも対応する予定。		
参考となるポイント等	乳用牛、肉用牛ともに高能力な血統の牛を多数所有し、それらから生産した受精卵を自家利用のみでなく県内畜産農家にも販売していたが、凍結器を所有していないことがネックとなり十分な供給体制がとれていなかった。本事業を活用して凍結器を導入したことで効率的かつ安定的な受精卵供給体制が確立され、県内牛の高能力化に寄与することが期待できる。		